



「おいしい  
タケノコ汁を  
召し上がれ♥」  
と良子さん。



たしる保育園の  
「おゆうぎ」からスタート



歩いて会って何でも話す  
ワクワクの突撃取材

# あつてグッド<sup>25</sup>

市民の皆さんが  
たくさん登場

☆今回訪ねたのは  
「たけのご祭り」

H19.6.10取材



6月とは思えないほど、今日は朝から温度計の針が上昇中。毎年6月の第2日曜日に開催している「たけのご祭り」の会場「田代スポーツ公園」にやって来ました。

田代地域で行われてきたこの祭りは、田代地域名産のタケノコを通じて、郷土愛を育むもの。田代のタケノコは、言わずもがなですが、太くて柔らかいと、市外や県外からも採取に訪れるほどです。祭りでは、タケノコ汁や生タケノコの販売はもちろん、タケノコ汁早食い競争やタケノコダーツゲームなども行われて、とことんタケノコにこだわりの、会場は多くの来場者でにぎわいます。

ちよつと早めに会場に入って、まずはタケノコ汁の出店へ。後ろには直径が1mは優に越えるかという大鍋が三つ。これでタケノコ汁を料理しているのですか。「午前2時から煮込みました」とタケノコ汁の鍋を説明してくれたのは、**岩谷良子さん**（清水町）。そんなに早くから煮てたんですか。「昨日のうちに皮をむき材料をそろえておいて、じっくりと時間をかけて煮込んだんです。おいしいですよ」。販売は、もう少し後とのことだ。「じりゃあ、ぜひとも食べてみないと」と心に誓い、テントを後にしました。

広場に何やら、行列が。何だろうちのぞいてみると、人気の生タケノコ販売の引換券をもらうための行列。行列の先頭のかたは、漏れのかたいらっしやいませんか」と声を掛けながら後ろへ行きますと、10番目ぐらいで、やっと手が挙がりました。ご夫婦で並んでらっしやったのは、**戸田安弘さん**（池内）と**タマさん**。「俺よりも、前に誰かいるはずだよ」と安弘さんはおっしゃってましたが、手を挙げていたのが、運のツキ？ 大館市民の一番バッターと認定します。「毎年このたけのご祭りに来ているんだ。評論家じゃないから、良くわからないけれど、食べてみて、田代のタケノコはやっぱりおいしいと思つ」と、お褒めの言葉を頂きました。「農家なので、これまで春の作業ですつと忙しかった。ちよつと、一段落した頃にこの祭りがあるから、楽しみにしている」そうです。いつもは息子さんの車で来るそうですが、今年はお二人で。「生タケノコを息子にも分けてやりたい」とタマさん。母親ってありがたいものですね。



「田代のタケノコはやっぱりおいしい」と安弘さん。  
「息子にも分けてやりたい」とタマさん。